

令和4年度 第1回 滋賀県渋滞対策協議会

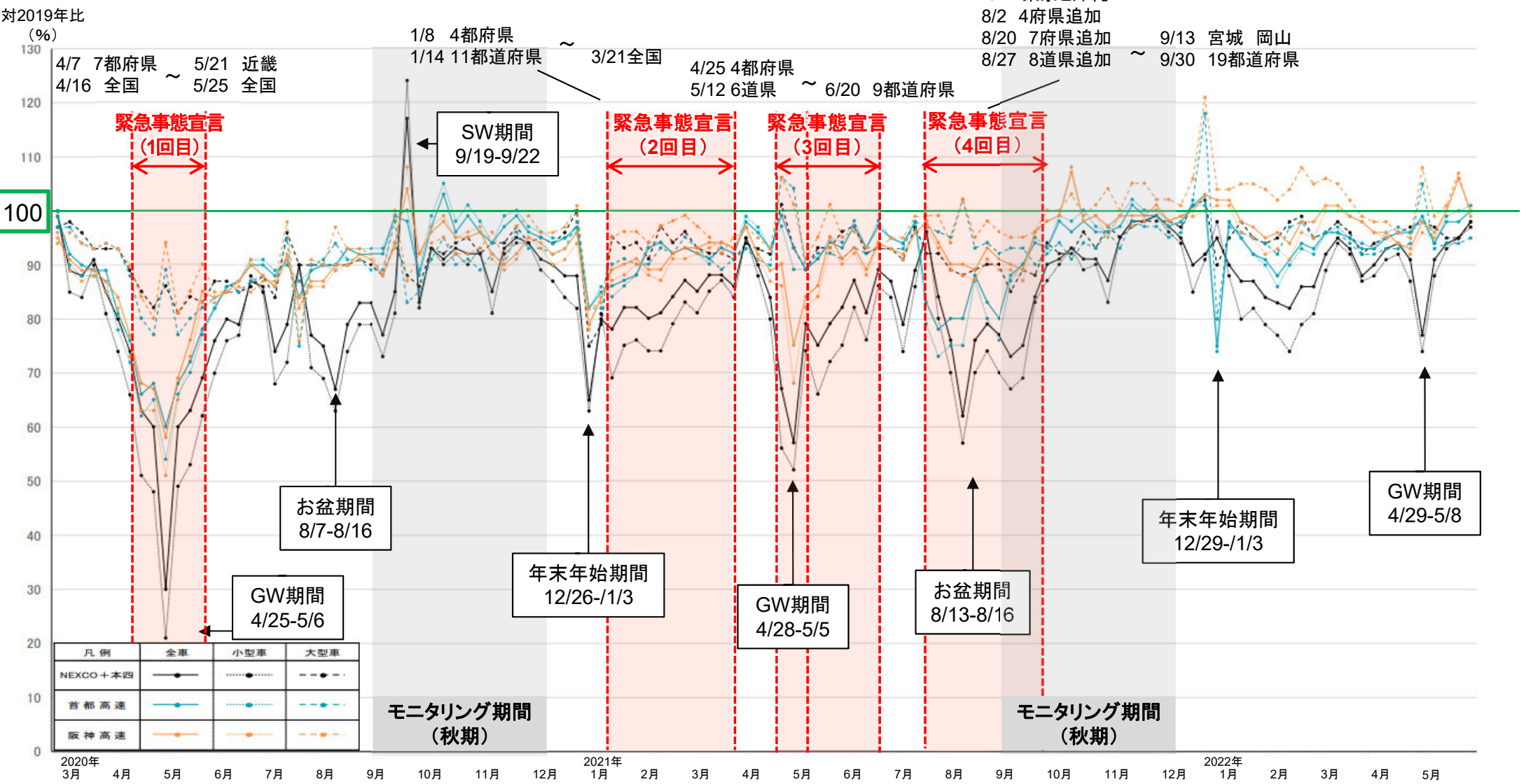
滋賀県内の交通量の状況について

令和4年8月4日(木)

1. 【全国】高速道路の交通量の推移

○全国の高速道路の交通量は、最初の緊急事態宣言が発出された2020年4～5月はコロナ禍前の2019年比で約7割減少したが、その後は徐々に増加し、2020年秋期には1割減程度まで回復。
 ○2021年の緊急事態宣言期間中の交通量は、対2019年比で3～4割減少したが、その後は回復の傾向。

■全国における高速道路の週別交通量の増減(コロナ禍前の対2019年比)



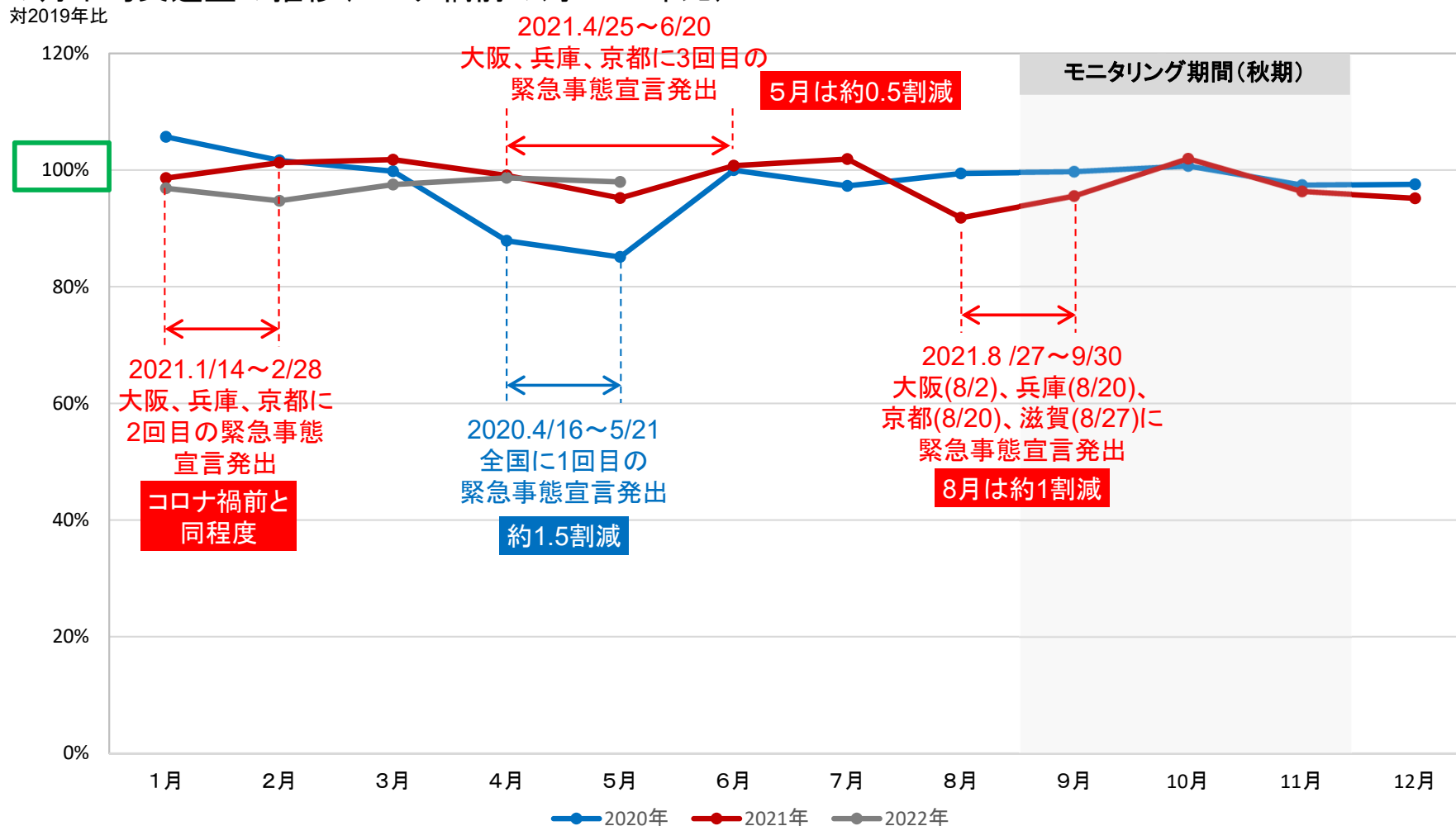
※2020年の2月及び繁忙期(GW・お盆・SW・年末年始)以外は週別の交通量を比較(対2019年比)

(出典)国土交通省HP 全国・主要都市圏における高速道路・主要国道の主な区間の交通量増減(更新:令和4年6月7日10時)に一部加筆

2. 【滋賀県内】交通量の推移

- 全国で緊急事態宣言が発出された2020年4～5月はコロナ禍前の2019年比で約1.5割減少したが、その後は徐々に回復。
- 2021年に近畿に3度緊急事態宣言が発令され、そのうち8-9月には約1割減少したが、それ以外の期間は95-100%とコロナ禍前と同程度。

■滋賀県内の月平均交通量の推移(コロナ禍前の対2019年比)



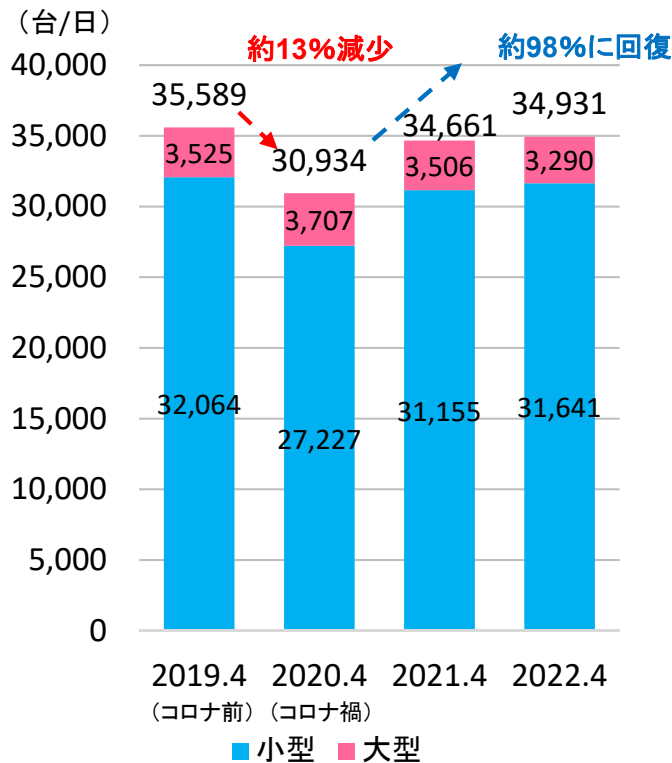
(出典): 滋賀国道事務所管内トラフィックカウンターデータ(抽出期間:2019年1月~2022年5月 全日)

3. 【滋賀県内】主な国道の交通量の比較(2019年～2022年の4月を比較)

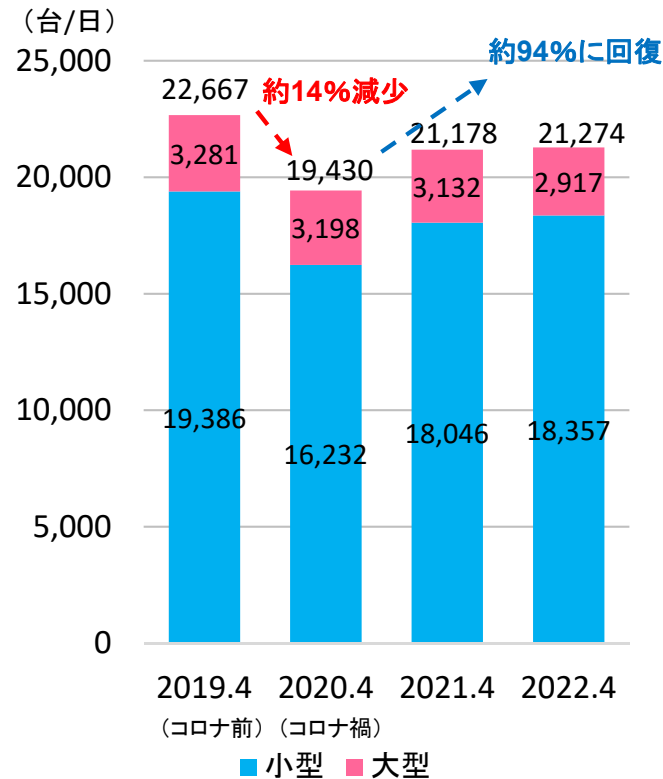
○1回目の緊急事態宣言が発出された4月の交通量を比較すると、2020年4月はいずれの地点も2019年の交通量から1～2割減少したが、2022年には約94～98%程度に回復。
 ○車種別の傾向としては、主に小型車が減少しており、大型車に大きな変化はない。

■滋賀県内における交通量の変化

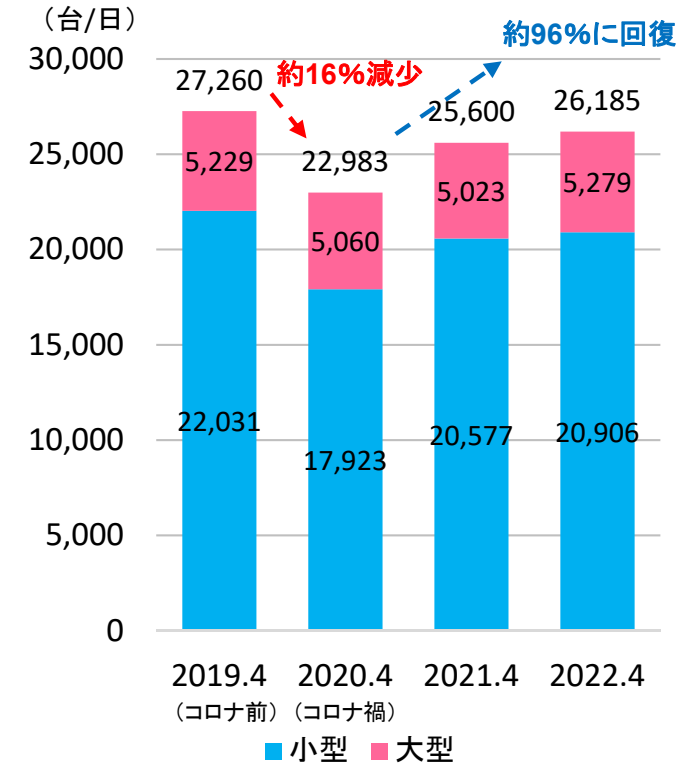
▼国道1号(逢坂山)



▼国道8号(彦根)



▼国道161号(湖西道路)



※2020年 4/16～5/14: 滋賀県(全国)に緊急事態宣言発出(大阪府、兵庫県は4/7～5/25)
 2021年 4/25～6/20: 京都府、大阪府、兵庫県に緊急事態宣言発出

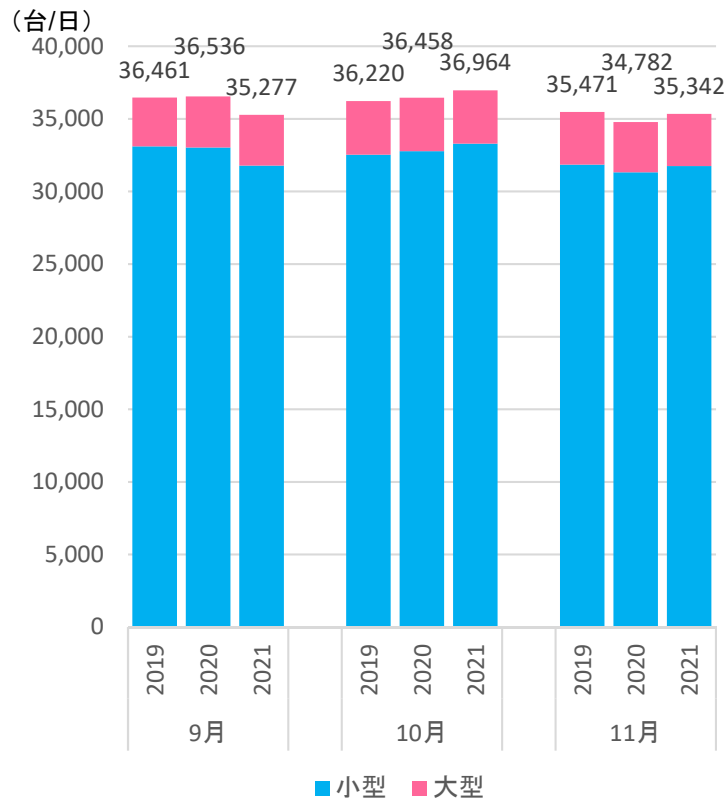
(出典): 滋賀国道事務所管内トラフィックカウンターデータ(抽出期間: 2019年4月、2020年4月、2021年4月、2022年4月 全日)

3. 【滋賀県内】主な国道の交通量の比較(2019年～2021年の9～11月を比較)

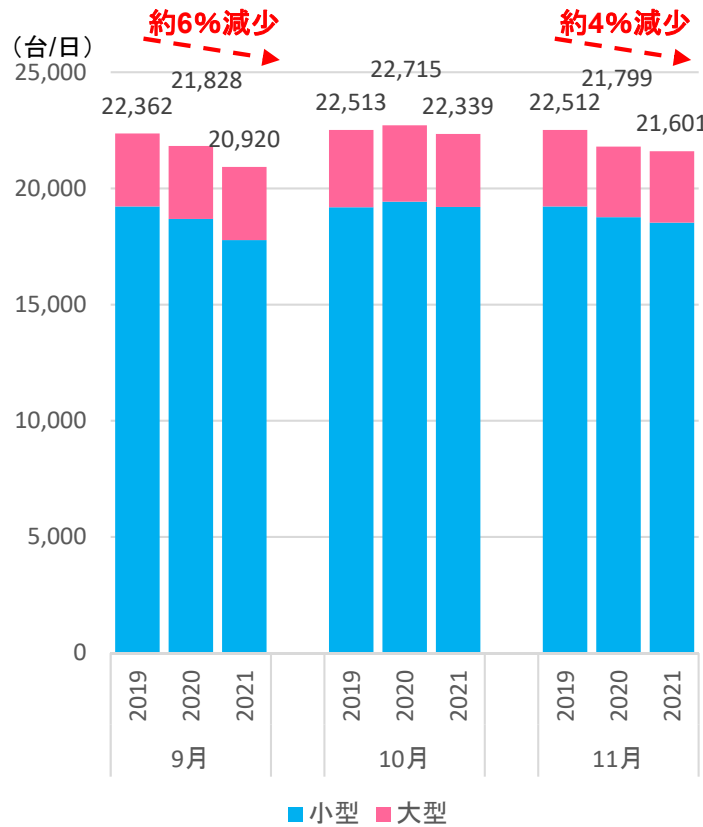
○秋季の交通量を比較すると、2019年から2021年の交通量は3地点とも大きな変化はない。
 ○彦根と湖西道路では、2021年の9月と11月の交通量が2019年から微減しているが、約4～6%に留まる。
 ○2021年9月は緊急事態宣言が発令中であったため減少し、11月は祝日のある月だが、県外からの来訪者が2019年ほど戻らず、減少したと考えられる(詳細は後述)。

■滋賀県内における交通量の変化

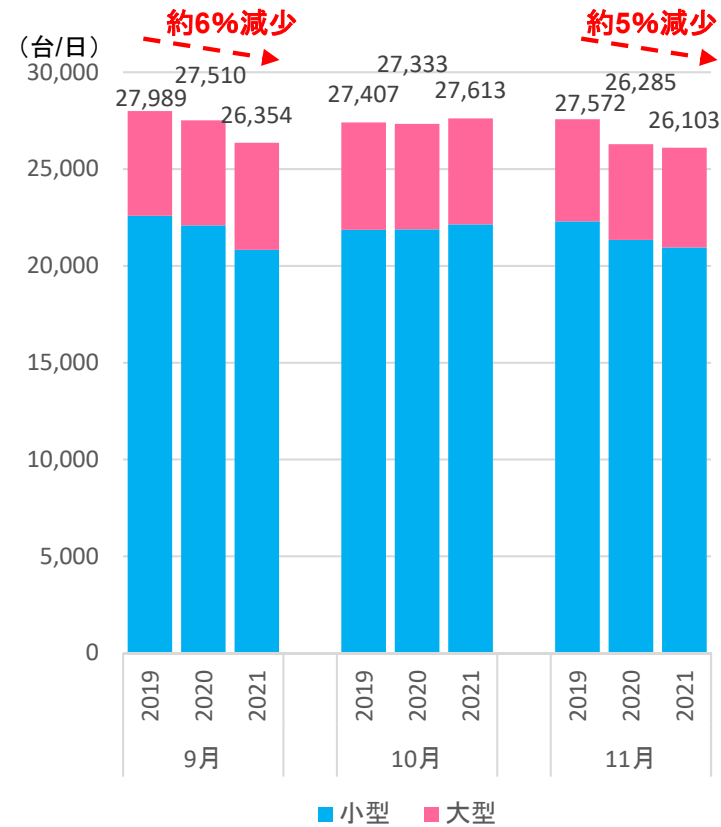
▼国道1号(逢坂山)



▼国道8号(彦根)



▼国道161号(湖西道路)



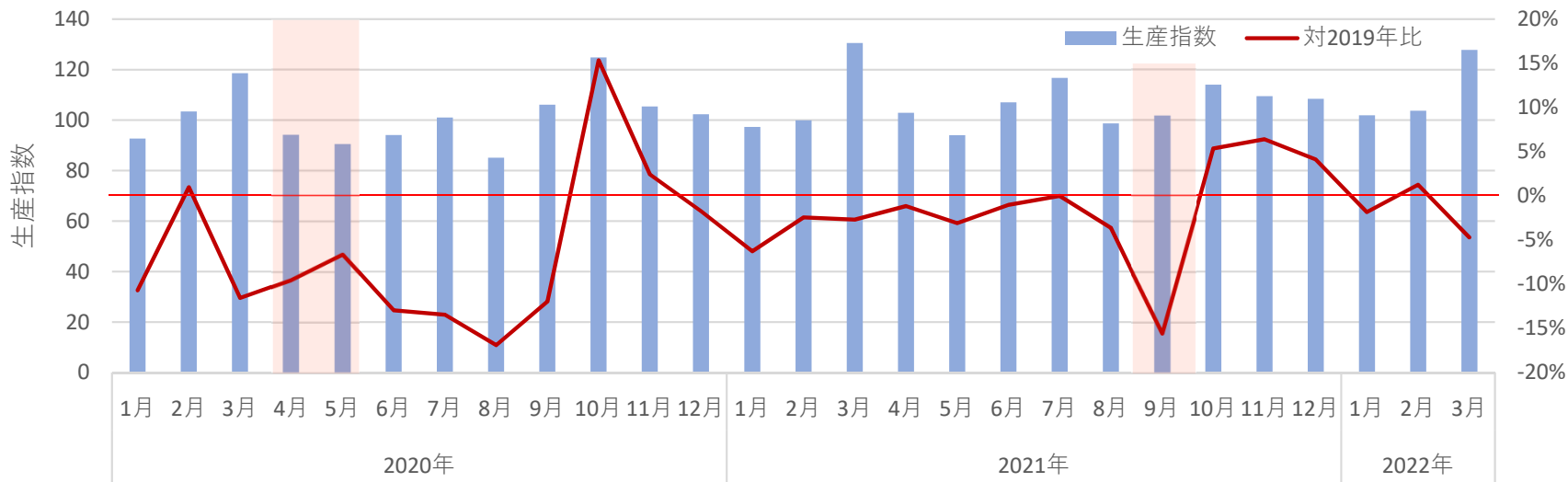
※2021年 8/27～9/30: 滋賀県(21都道府県)に緊急事態宣言発出(大阪府は8/2～、兵庫県、京都府は8/20～)

(出典): 滋賀国道事務所管内トラフィックカウンターデータ(抽出期間: 2019年9,10,11月、2020年9,10,11月、2021年9,10,11月 全日)

4. 経済活動の変化(製造業の変化)

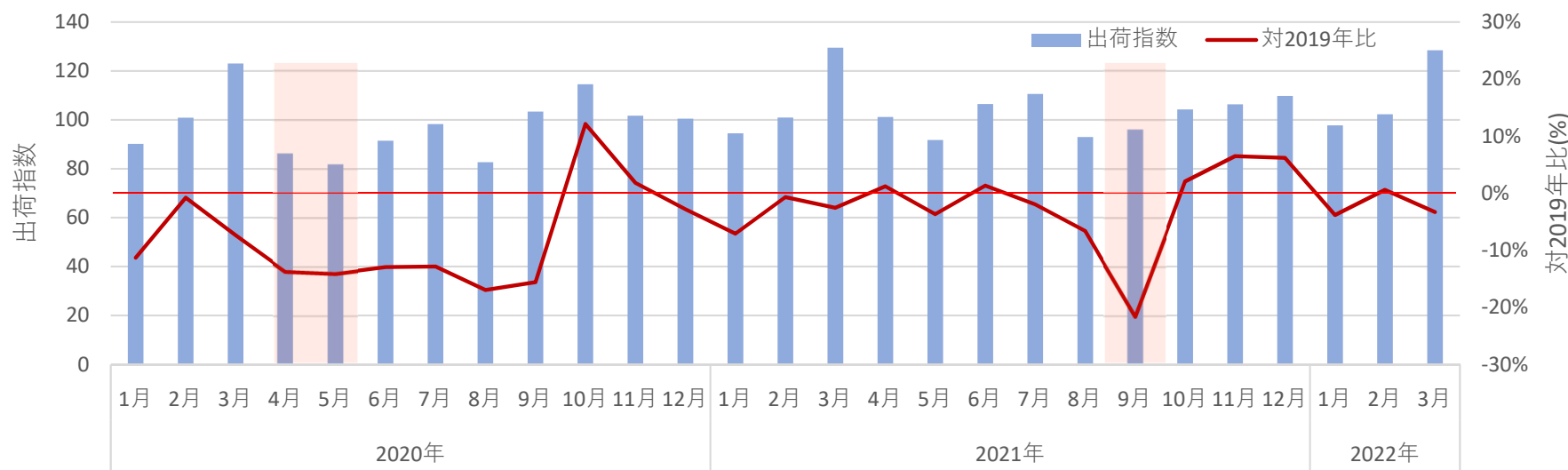
○滋賀県内の鉱工業の生産・出荷指数は2020年3月～9月に低下したが、2021年以降は緊急事態宣言発令期間を除き、2019年と同程度まで回復している。

■ 滋賀県鉱工業指数の推移-生産指数-



滋賀県での緊急事態宣言発令期間

■ 滋賀県鉱工業指数の推移-出荷指数-



○ 鉱工業指数とは、鉱工業・製造業の動向を示す数量指数

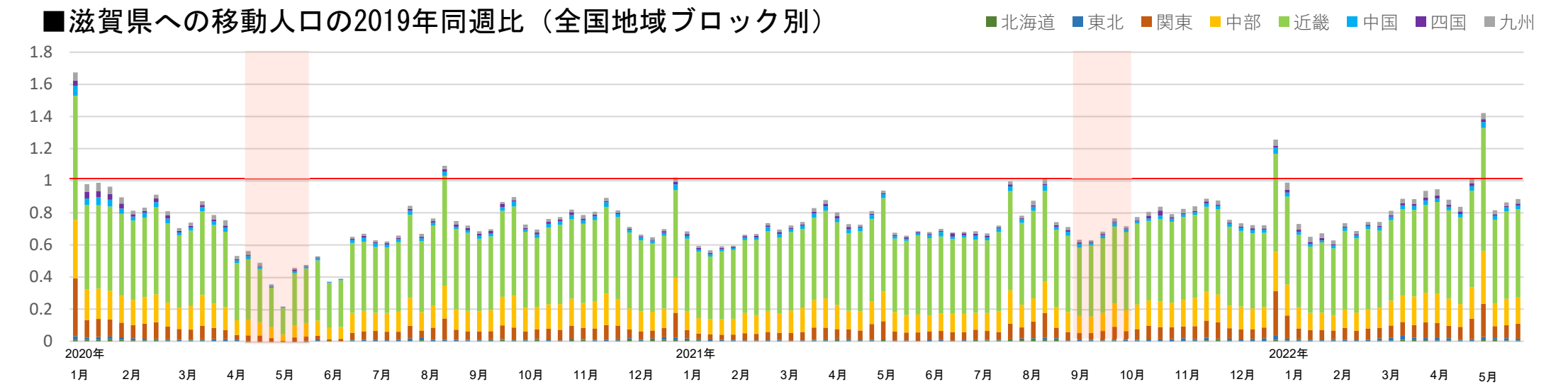
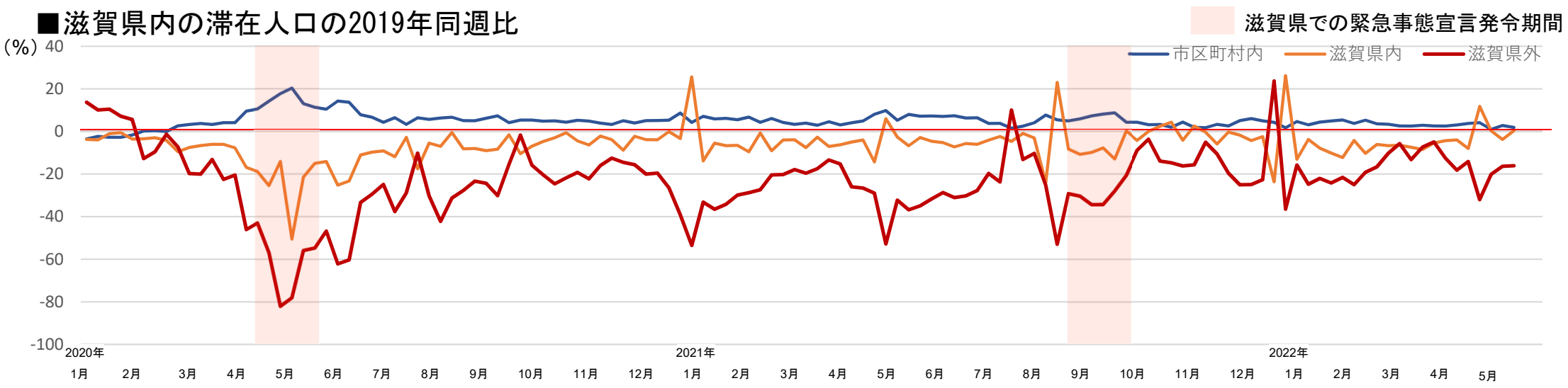
○ 生産指数：鉱工業生産活動の全体の水準の動きを示す

○ 出荷指数：鉱工業製品の工場からの出荷の状況を示す

(出典)：滋賀県鉱工業指数
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensei/tokei/koukougyou/shisuu/300389.html>

4. 経済活動の変化(人の流れ)

○滋賀県の市区町村内、滋賀県内の滞在人口はコロナ禍前の約9割～同程度であるが、滋賀県外からは2割程減少。
 ○滋賀県への移動人口は近畿地方からが中心だが、年末年始やGW期間、お盆期間には関東からの移動も増加。



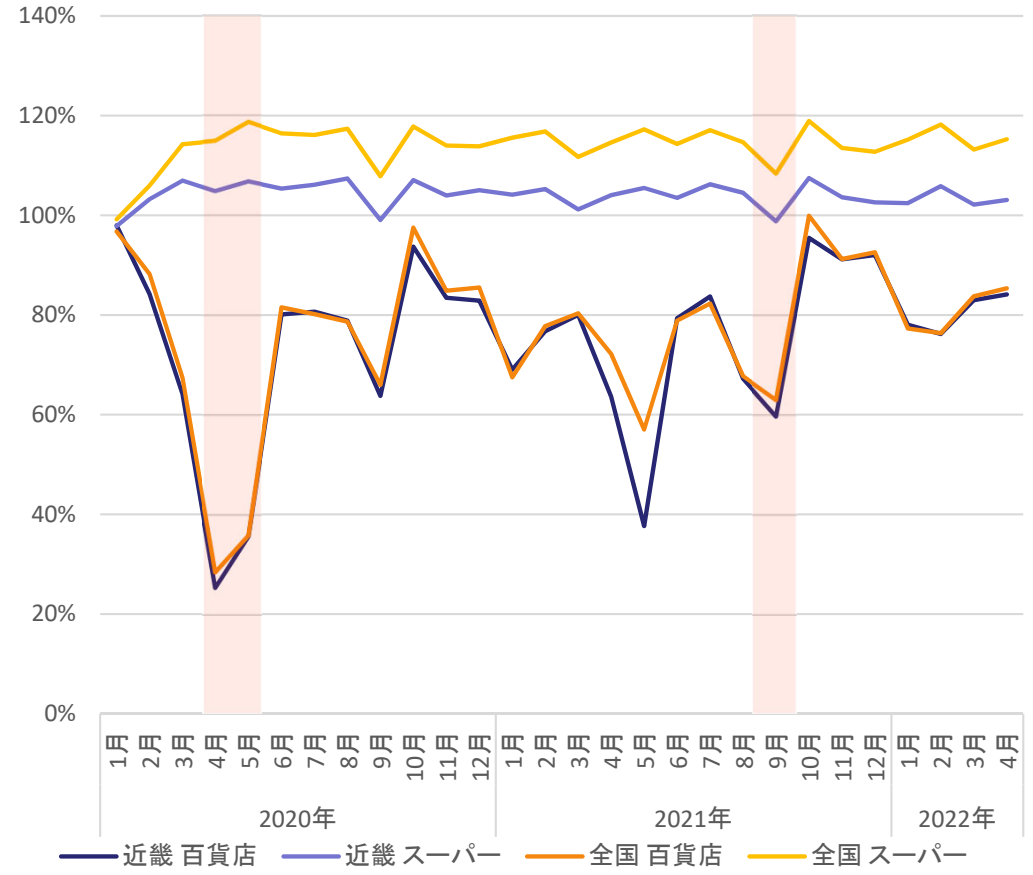
(出典) 株式会社Agoop「流動人口データ」/内閣府V-RESAS 期間：2020～2022年 5月 ※スマートフォンのGPSデータを元に居住地と滞在地を推定し集計
 滞在人口：各代表観測地点の駅重心に位置する500m四方に滞在する人口。該当市区町村に滞在している人口について、推定居住地別に集計。
 移動人口：選択したエリアに滞在している人口について、居住地である都道府県毎の地域別に集計。

4. 経済活動の変化(消費・観光)

○百貨店の販売額(近畿・全国)は、2020年の緊急事態宣言後(4月)に急落。2022年には8割前後に回復。
 ○スーパーの販売額(近畿・全国)は、2020年2月より増加傾向で2019年同月を上回る。
 ○日本人・外国人観光客数は2020年4月に急減。延べ観光客数は7割程に回復してきているが、外国人観光客数は1割以下。

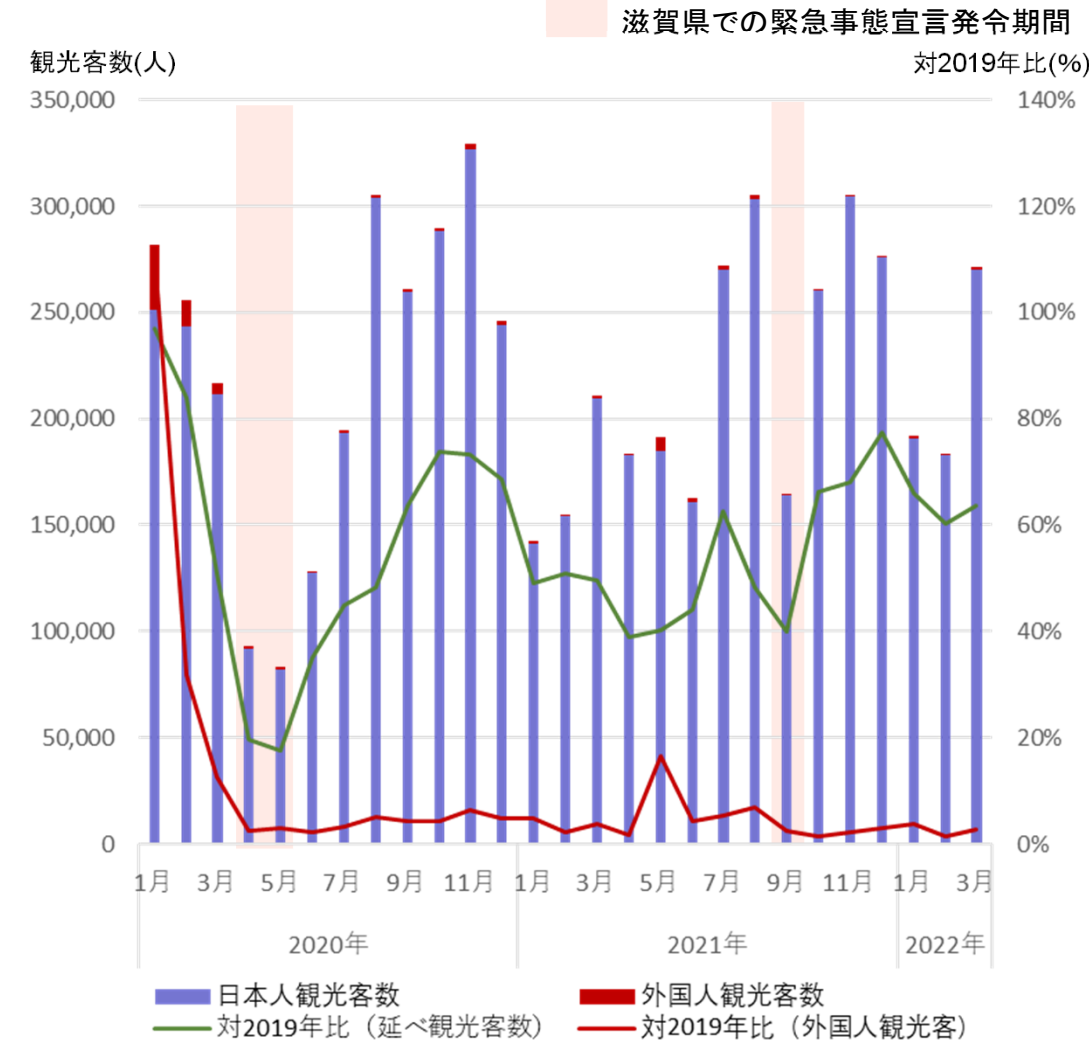
■百貨店・スーパー販売額の対前年同月比(既存店※ベース)
 ※既存店：出店から一定の期間以上経過した店舗のみの売上

■近畿・全国



(出典)経済産業省 近畿経済産業局HP
 News Release 百貨店・スーパー販売状況(近畿地域)(令和4年4月速報)より
 百貨店：日本標準産業分類の百貨店、総合スーパーのうち売場面積が特別区及び政令指定都市で3,000㎡以上、その他の地域では1,500㎡以上の事業所。
 スーパー：売場面積が1,500㎡以上で、その50%以上において、セルフサービス方式を採用している事業所。

■滋賀県内の観光客数(宿泊者)推移



(出典)観光庁 宿泊旅行統計調査(令和4年3月分第2次速報値)を使用して作成
www.mlit.go.jp/kankocho/siryou/toukei/shukuhakutoukei.html